

OMNIA A/X

Software Based Audio Processor



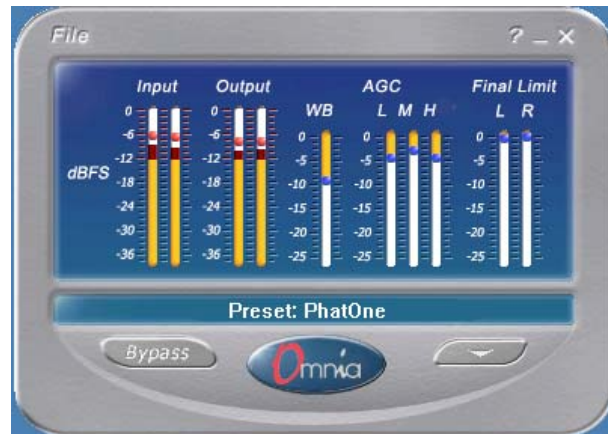
User's Manual

Rev.1.00



株式会社 エス・シー・アライアンス
SCA サウンドソリューションズ社

Omnia A/X 概要



Audio Processing

- *Wideband AGC* ワイドバンドAGC
- *3 Band Combined Compressor/Limiter* 3バンドコンプレッサー/リミッター
- *HF EQ* ハイ・フリークエンシー・イコライザー
- *Adjustable Bandwidth Lowpass Filter* アジャスタブル・バンドウィズ・ローパス・フィルター
- *Final Look-Ahead Limiter* ファイナル・リミッター

User Interface

GUI (グラフィカル・ユーザー・インターフェース)

Controls (制御)

メインウィンドウには、以下のメニュー及びコントロールがあります。

- *File*
- *Open, Save, Save As* (Presets 用)
- *About*
- *Minimize*
- *Close*
- *Bypass*
- *Open Audio Block Window*

オーディオ・ブロック・ウィンドウには、以下のブロック及びコントロールがあります。ブロックをクリックするとサブウィンドウへアクセスできます。

- *Input*
- *Input gain*
- *Selectable Lowpass Filter For Bandwidth Control*
- *X-Over*
- *Wide-Band AGC*
- *Drive control that will determine the amount of audio level driving this section*
- *A "speed" selector that will select "slow," "medium," or "fast" operation*
- *3 Bands Of A Combined AGC/Limiter*
- *Drive control for each band*
- *The same speed controls as above for the WB-AGC*
- *High-Frequency EQ Enhancer:*
- *Mixer*
- *Final Limiter*
- *Output Gain*

Displays (ディスプレイ)

以下を表示します。

- *Input and Output Level Meters*
- *WB AGC Bargraph Meter*
- *Bargraph Meter For Each Of The 3 Processing Bands*
- *Bargraph Metering for the Final Look-Ahead Limiter*

Presets (プリセット)

プリセットはハードウェア (オムニア FM 等) と同様に機能します。保存、リコール、他調整可能な設定を含みます。ハードディスクからプリセットの保存及びリコールが可能です。

Omnia A/X 動作環境

CPU: Pentium III 動作周波数 800MHz 以上

OS: Windows 2000、NT、XP

Drives: CD-ROM にてインストール、ディスク空容量 2 MB 以上

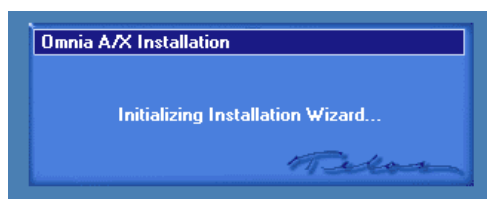
Memory: 16 MB (最小)、32MB 以上 (推奨)

Video Card: SVGA カード、16 ビットカラー、解像度 800x600、1024x768 (推奨)

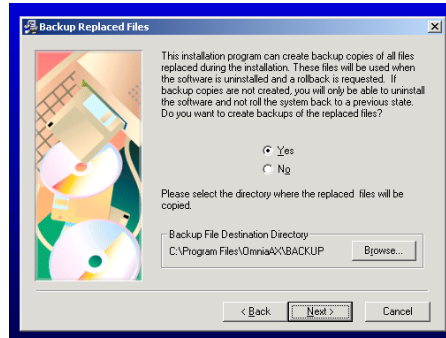
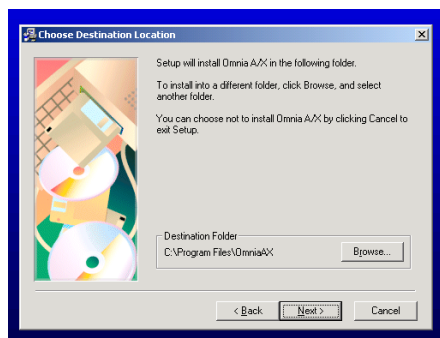
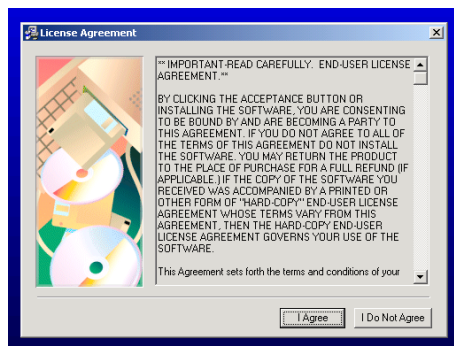
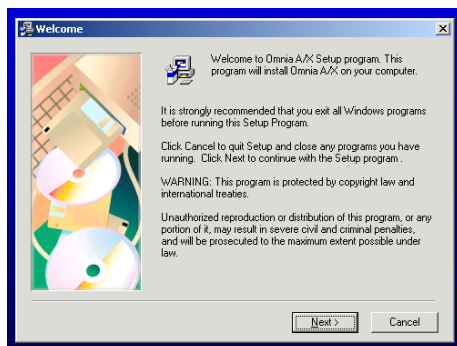
Audio I/O: 業務用サウンドカード、音声ファイル/音声信号の伝送ネットワークインターフェース

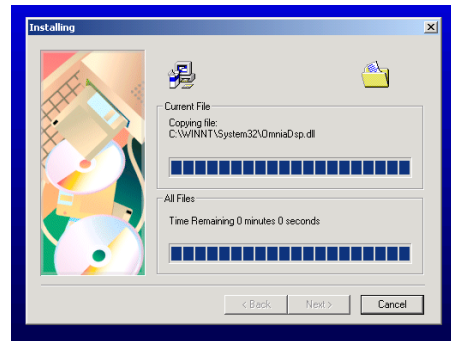
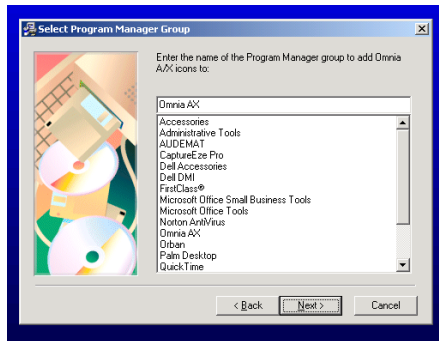
PC への Omnia A/X インストール手順

1. CD-ROM を PC のドライブに挿入します。ドライブのオートラン機能が働いている場合は、インストーラーは自動で立ち上がります。この場合、ステップ 2 は必要ありません。
2. ドライブのオートラン機能が働いていない場合は、スタートメニューから” RUN” を選択します。” D:\OmniaAX.exe” (D または CD-ROM のドライブのアルファベット) をタイプし、OK ボタンをクリックします。
3. 3 つのオプションがあるメニューが現れます。一番上の ” Install Omnia A/X” をクリックします。

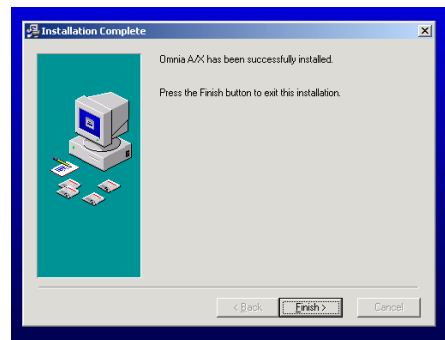
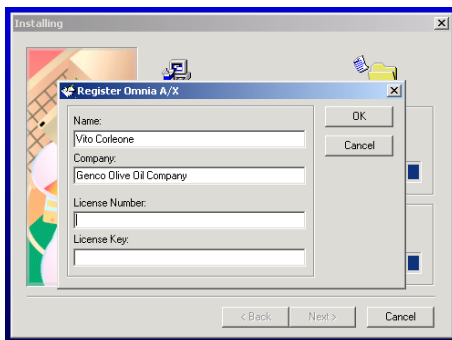


4. Omnia A/X インストーラーが立ち上がった後、デフォルトのセッティングを選択するか又は、お使いの PC に最適な選択をしてください。





5. 名前、社名、ライセンス番号、ライセンスキーを登録してください。ライセンス及びキー番号は、CD-ROM の入っているパッケージ内のシールに記載されています。



6. インストール終了後に PC を再起動してください。

Audio Processing Options Window

File Functions (ファイルの各機能)

メインスクリーンメニュー

File Functions:

- Load...
- Save
- Save As...
- Exit



Close Window

File をクリックするとプルダウンメニューが現れ、4つの機能 (*Load, Save, Save As, Exit*) にアクセス可能です。

Load: プリセットをロードします。

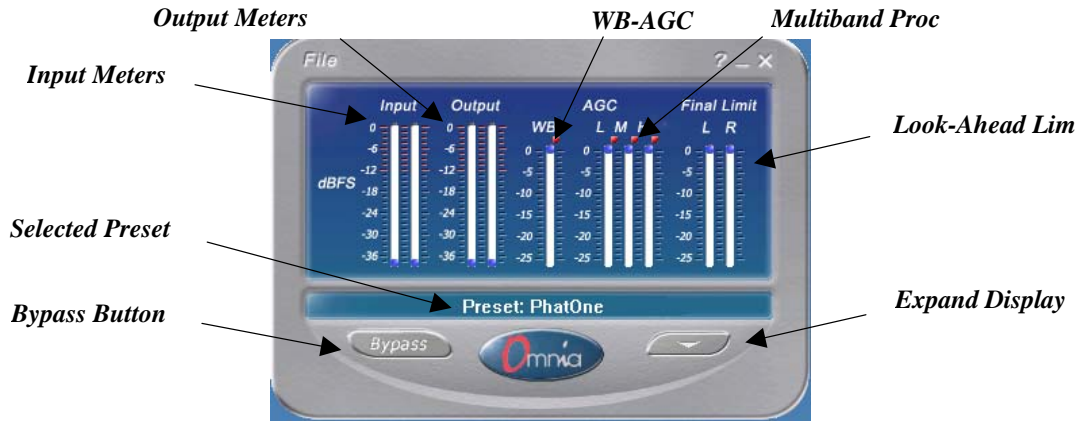
Save: ロードされているプリセットを上書きします。

Save As: パラメータの設定変更後、新規のプリセットファイルを作成、保存します。

Close: ウィンドウを閉じます。但し、**Omnia A/X** はバックグラウンドで音声処理を行なっています。

Display Functions (ディスプレイの各機能)

バーグラフ・ディスプレイで、Omnia A/X の動作状況を確認できます。

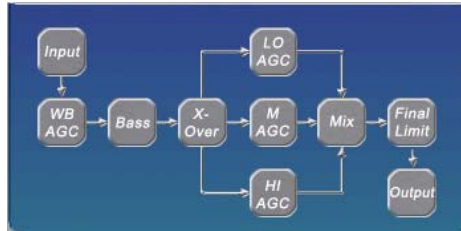


メインスクリーンでは、*Bypass* と *Expand Display* のみアクセス可能です。*Expand Display* ボタンをクリックすると *Block Diagram* が現れます。



Processing Adjustments (プロセッシングの調整)

ブロックダイアグラムはオーディオ信号のフローを表します。各ボタンはマウスをクリックし、アクセス、設定の調整ができます。



Block Diagram

Input

入力ゲインの設定。 -20dB から +10dB

*デフォルト設定 0.0dB = +4dBu(-12dBFS)



WB-AGC (WideBand AGC)

入力信号の AGC (オートゲインコントロール) 処理の設定。



Drive: ゲインリダクションを実行します。コントロールを低く設定するとLOUDネスを減らします。

-6dB~+6dB

Release: 数字が少ないと遅くなります。早いリリースタイムを欲しい場合はこの数字を大きくします。スローリリースはサウンドクォリティーが高くなります。

GATE: ON でゲートが機能します。短時間の無音に対しては不自然な“pumping”効果を防ぎます。

Bass 低域のブーストを調整します。



Deep Bass EQ: “Thunder” (雷のような、大きな) ベースを増強します。クリーンな低域を提供します。85Hz にかけて穏やかなブーストを行ないます。

Phat Bass EQ: ベース音の低域から高域へのハーモニックスを増強します。LOUDネス効果を提供します。

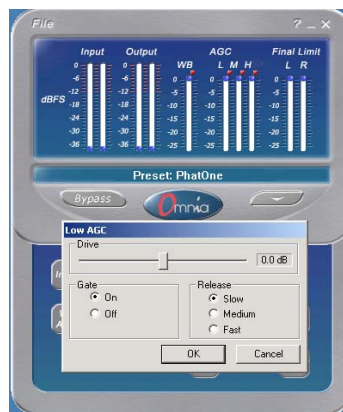
X-Over

Omnia A/X ではクロスオーバーは固定で調整はできません。



Multiband AGC Sections

3つのバンド（Low, Mid, High）に分割された帯域ごとのAGC。



Drive: ゲインリダクションを実行します。コントロールを低く設定するとラウドネスを減らします。

-6dB～+6dB

Release: 数字が少ないと遅くなります。早いリリースタイムを欲しい場合はこの数字を大きくします。スローリリースはサウンドクォリティーが高くなります。

GATE: ONでゲートが機能します。短時間の無音に対しては不自然な“pumping”効果を防ぎます。

MIX

マルチバンド（3帯域）に分割した信号をミックスするセクションです。レベルを上げ過ぎると後段のファイナルリミッターに引っ掛かりその帯域で大きな歪を発生します。

“EQ”をかけたい場合は、マルチバンドセクションのドライブレベルの変更をお勧めします。このMixセクションは通常、微妙な“EQ”コントロールに使用します。-6dB～+6dB



Final Limiter

プロセッシングの最終段にあるトータルリミッター。



Limiter Drive: ラウドネスのファインチューニングに使用します。+3dB～-3dB 0.1dB ステップ

Output

出力レベルの設定。 - 26dB から +6dB

Output Filter: 主にウェブキャスト、特にロービットレートで使用。プルダウンメニューで8つのフィルターを選択可。



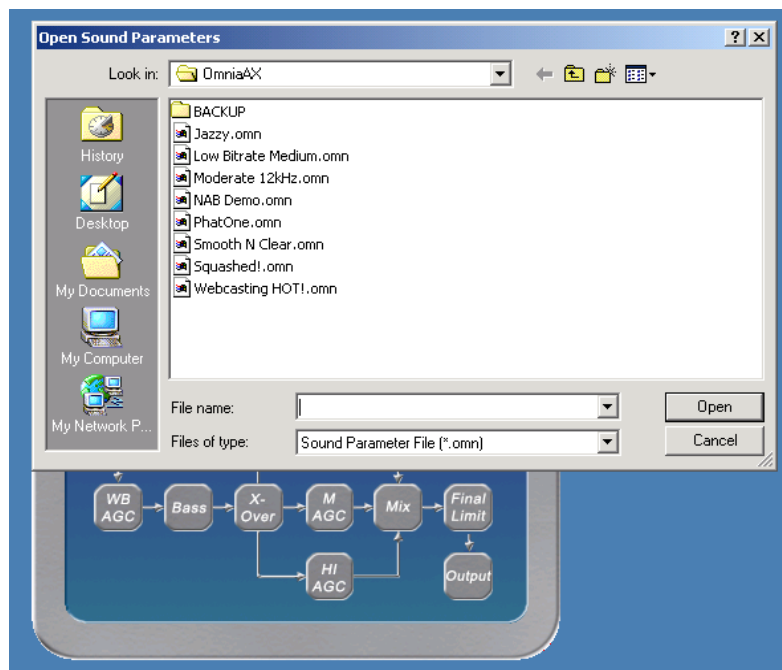
Bypass

BYPASS ボタンをクリックし、プロセッシングの ON、OFF (バイパス) が瞬時に比較できます。



Loading a Preset (プリセットのロード)

メインのプロセッシングディスプレイからメニューバーの *File* をクリックします。プルダウンメニューから、*LOAD* を選択、クリックすると *Open Sound Parameters* ボックスが現れます。プリセットのリストが表示され、クリックし、プリセットを選択します。



Modifying Presets (プリセットの変更)

ブロックダイアグラムから各ボタンをクリック、選択して変更したいパラメーターにアクセスします。OKをクリックし、変更が確定するとプリセット名の右上にアスタリスク(*)が現れます。プリセットをロードし直すか変更したプリセットをセーブするとこのアスタリスクは消えます。

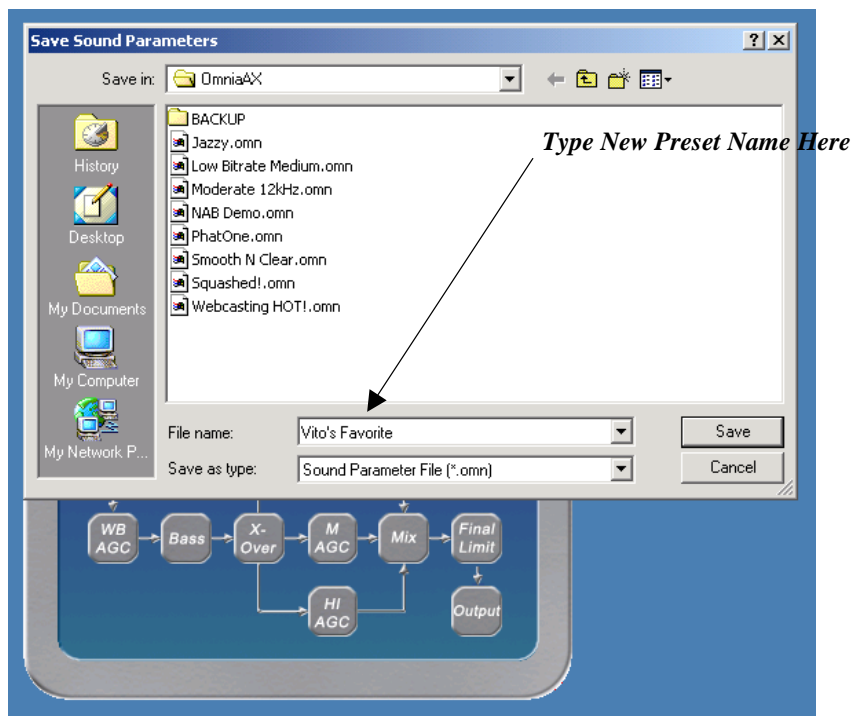
Preset: PhatOne *

Saving Presets (プリセットの保存)

SAVE と SAVE AS という 2つのプリセットの保存方法があります。SAVE は、既存のプリセットに変更を加え、上書きする場合に使用します。SAVE AS は、既存のプリセットに変更を加え、新規の名前を付け保存します。ユーザープリセットを作成する時に使用します。

Save: メインのプロセッシングディスプレイからメニューバーの **File** をクリックします。プルダウンメニューから、**SAVE** を選択、クリックすると現在すでにロードされているプリセットに変更された設定が保存されます。

Save As: メインのプロセッシングディスプレイからメニューバーの **File** をクリックします。プルダウンメニューから、**SAVE AS** を選択、クリックすると **Save Sound Parameters** ボックスが現れます。プリセットのリストが表示されます。**File Name** ボックスに新しいプリセット名をタイプします。**Save** ボタンをクリックし、保存するとそのプリセットがメインスクリーンに現れます。下図の例では、**Vito's Favorite** という新しいプリセット名がタイプされています。



御不明なところがありましたら下記までご連絡ください。

株式会社 エス・シー・アライアンス
SCA サウンドソリューションズ社
〒151-0066 東京都渋谷区西原 1 - 2 9 - 2
TEL : 03-3372-3661
FAX : 03-3372-3671
URL: <http://ss.sc-a.jp>
e-mail: support@ss.sc-a.jp